

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
20	東京純心大学	リトミックⅢ	平島 美保 現代文化学部 非常勤講師	1	前期		15		東京純心大学	5

#### 【到達目標】

1. 音楽の内面的な要素である音の響きのニュアンスを体得し、それを表現できる
2. 仲間とコミュニケーションを取りながら、創作活動ができる
3. 音楽と自分とのコミュニケーションを取りながら、自己表現が出来る
4. 音楽活動を行う上で、幼児教育者、保育者として柔軟な対応ができる

#### 【授業の概要】

リトミックという手段は、音楽教育の分野だけでなく、むしろ音楽療法、幼児教育の分野で応用されている。これは無意識に身体が音楽に反応しているという特性を意識し強化することによって、人間の内側にある何かを揺さぶり、覚醒させ、感性・感覚に刺激を与えるということからである。特に幼児期には、知識が先行する前に行う方がより効果を上げる。リトミックⅢでは、Ⅰ、Ⅱで体験した音楽の諸要素の体験を更に深めながら、ニュアンスを中心とした内側の部分のトレーニング、また、実際に子ども達に行う「動きを伴うソルフェージュ(リトミックソルフェージュ)」を体験する。サブジェクトとして「音の高低」「音の方向性」「長調と短調の響き」「主和音・属七の和音・下屬和音の響き」「ポリリズム」「補足リズム」「拍の分割形」「リズムフレーズ」[5音音階]「全音音階」を体験する。

#### 【授業内容】

1. ・授業に臨む心構えと授業内容についてのガイダンス ・こどもと行う遊びとして「音の方向性を伴う3つの音の並び」を用いたソルフェージュ
2. ・音楽の要素であり基本となる「拍」の3分割拍について(1)分割形の紹介 ・こどもと行う遊びとして「音の方向性を伴う3つの音の並び」を用いたソルフェージュ
3. ・3分割拍の分割形の体験と2分割拍とのニュアンスの違いを体験する活動(2)分割形を用いたリズム作成 ・音の高低の判断、及び聴唱
4. ・3分割拍の分割形の体験と2分割拍とのニュアンスの違いを体験する活動(3)分割形を用いた表現活動 ・音の高低の判断、及び聴唱
5. ・ポリリズムによる手の動き、足の動きを始めとする身体の動きによる表現 ・こどもと行う歌あそびとして、「長調と短調」の聴き分け、歌い分け
6. ・補足リズム(1)4分音符を補足リズムにした場合の表現活動 ・こどもと行う歌あそびとして、「長調と短調」の聴き分け、歌い分け
7. ・補足リズム(2)8分音符を補足リズムにした場合の表現活動 ・こどもと行う歌あそびとして、メロディの聴唱
8. ・5音音階を用いた即興奏
9. ・全音音階を用いた即興奏 応答奏
10. ・5音音階、全音音階を用いた即興奏 グループによるショートストーリーの表現
11. ・こどもと行う歌あそびとして、「Ⅰの和音、Ⅴ7の和音」の響き、性格を感じ取る活動・主和音・属和音・下屬和音について
12. ・こどもと行う歌あそびとして、「Ⅰの和音、Ⅴ7、Ⅳの和音」(1)和音の響きと性格を感じ取る活動とそれらを用いたこどもの歌による表現活動
13. ・こどもと行う歌あそびとして、「Ⅰの和音、Ⅴ7、Ⅳの和音」(2)「こどもの歌」で使用されている和音の分析とそれらを用いた表現活動
14. ・こどもと行う歌あそびとして、「Ⅰの和音、Ⅴ7、Ⅳの和音」(3)「こどもの歌」で使用されている和音の分析とそれらを用いたグループによる表現活動
15. ・こどもと行う歌あそびとして、「Ⅰの和音、Ⅴ7、Ⅳの和音」(4)グループで分析した和音の流れ(和声)の動きによる表現、及び発表

#### 【成績評価方法】

グループで行う「動き、表現」の作品、提出物、グループ活動における参加度(平常点)で評価する。  
動き、表現活動作品 80%、提出物 10%、平常点 10%

#### 【教科書】

特になし。  
必要に応じて資料を配布する。

#### 【参考書、教材等】

必要に応じて授業内で紹介する。

※ 初回の授業については、学務課にお問い合わせください。